

- 胚盤胞の栄養外胚葉細胞を4～5細胞生検し、染色体数的異常の判定を行う。
- 数的異常を認めない胚を優先的に移植することで、着床率・妊娠率の向上と流産率の低下が得られる。

体外受精

卵巣刺激 → 採卵 → 体外受精 → 胚培養 → 胚移植

医師は結果報告書を元に患者及びそのパートナーに結果を説明し、移植可能胚を優先的に移植する

先進医療技術

透明体除去

細胞生検(胚盤胞)

個別に凍結保存

胚凍結
(移植可能胚:A・B胚)

胚生検

検体調製

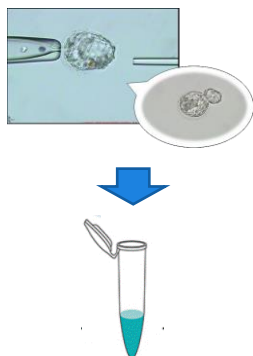
塩基配列決定

解析

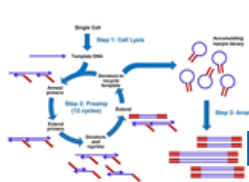
レポート作成

検査報告書

栄養外胚葉

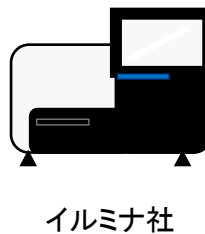


調製試薬



全ゲノム増幅
DNAライブラリー調製

DNAシーケンサー



イルミナ社

Embgenix™ Analysis Core-program



染色体異数性の検出
専用プログラム

操作インターフェース



閲覧用レポート作成

A胚	染色体数正常
B胚	染色体数異常 (一部の細胞)
C胚	染色体数異常 (全ての細胞)
D胚	判定不能

※染色体数異常には、構造異常も含まれる。
※医師は染色体毎のコピー数のレポート及びA～Dの分類を確認する。